

くらサポ ニュース ^{NO.} 77

発行：地域福祉相談支援センター

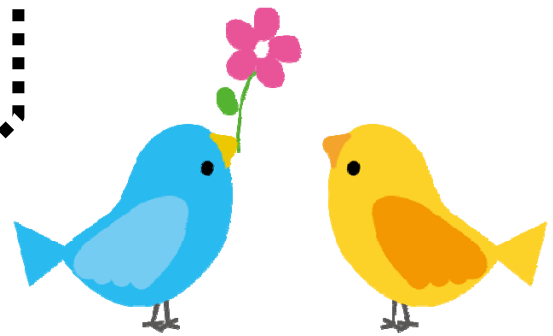
2021/3/01

地域の「困った」に くらサポで助け合い♡

三芳町でくらサポ第1号

くらサポを利用することになったAさん。ご主人の介護疲れもあり、支部の仲間から進められて申し込んだそうです。

コーディネーターの田中さんによると、三芳町では以前から組合員さん同士の助け合いが活発だったそうです。Aさんの場合も、以前から近所の組合員のMさんが食事づくりの援助に入っていたそうです。Mさんだけでは負担が大きいので、今後は他のサポーターと分担して援助に入るそうです。フレイル直前だったAさんは元気を取り戻しています。Mさんは、くらサポの良いところは、「組合員さん同士の助け合い。相対して関わることが大切だと感じた」と話しています。



この時期、ならではの依頼

西部地区で「灯油の買い出し」の依頼がありました。息子さんが来て、定期的買い置きしてくれているそうですが、残りのポリ容器が一缶になると、心配で仕方がないようです。

2月は、他に4件の買い物代行の依頼がありました。

また、確定申告の付き添いの依頼がありました。この時期ならではの依頼ですね！

くらしサポーター活動実施16自治体

川口市、川越市、さいたま市、所沢市、熊谷市、ふじみ野市・富士見市、上尾市、草加市、桶川市、秩父市、朝霞市、飯能市、狭山市、三芳町、深谷市、新座市(開設準備中)



医療生協さいたま

直通電話 048-296-8692

地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

埼玉県川口市木曾呂1317 (ふれあい会館2F) FAX 048(294)1490
午前9時～午後5時(月曜日～金曜日)



深谷市地域包括 支援センターを訪問

深谷市で暮らしサポーターが始って1か月が経ちました。制度の紹介と普及のために、深谷訪問看護ステーション栗原所長と熊谷生協病院の組織担当曾田さんが、市内の地域包括支援センター6か所を訪問しました。

訪問先では、「リーフレットに10時からとあるが、朝のゴミ出しもお願いできるか」、「サービス利用は医療生協の組合員さんになれば利用できるのか?」、「深谷市全域で利用できるのか?サポーターの登録人数はどのくらいか」、「暮らしサポーターのようなサービスは大変たすかる」などの声があり、暮らしサポーター制度に関心と期待を寄せて頂きました。

曾田さんは、「困りごとに寄り添える組合員活動の一つとして、引き続き利用やサポーター登録につながるように、職員、組合員、地域の方々と連携していきたい」と語っています。

サポーター登録 更新について

2021年度のサポーター登録の更新アンケートを返信いただき、ありがとうございました。結果は後日報告致します。

ココロエフロンを サポーターの皆さんに 割引販売しています!



通常1枚1,460円(税込)

サポーター登録者 700円

赤地にココロエフロンのプリント。サイズはMとL一般の男性ならMでぴったり。

申込みは、最寄りの事業所、組織担当、暮らしサポーター事務局へ。